SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK
世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
http://www.otagaisama.or.jp/
2018.4 No.168

セタガヤ・ボランティア・ネットワーク

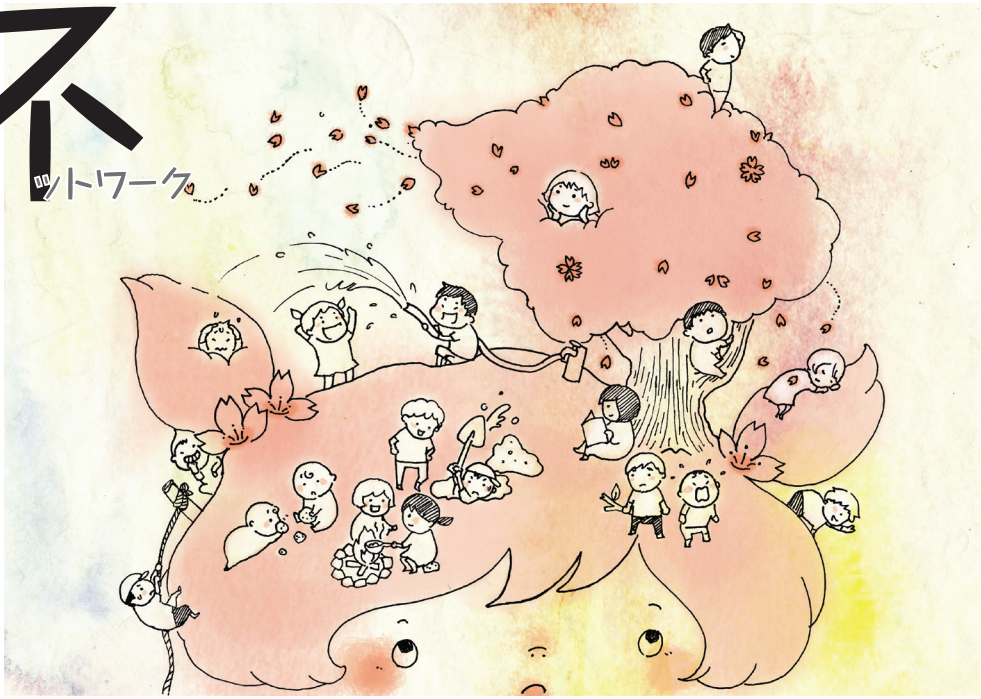
今月のトピック

特　集●

子どもに育ててもらったおとなたち
～せたがやチャイルドライン 20 周年～

まちの市民力！● おはなしたまごの会

◎せたがや災害ボランティアセンターレポート



イラストレーション● 荒木直子
2008 年より世田谷区にて、人形アニメーターとして活動。2012 年より羽根木プレーパーク世話人、イラスト・絵本制作などしています。

●わたしの世田谷
母になって羽根木プレーパークに出会い、初めて「地域の中で生きる」ということを意識しました。子ども・若者・大人、みんな違って、いきいきとしてる世田谷が好きです。

●特集

子どもに育ててもらったおとなたち

～せたがやチャイルドライン20周年～

1998年3月に世田谷の地に種が蒔かれた「チャイルドライン」が、今年20周年を迎えました。この節目に、チャイルドラインが大切にしてきたことをまとめ、受け手養成講座の講義集を発行しました。

3月3日にはお祝いの会を開き、この20年を振り返って、「よくやってきたね」とねぎらい、「まだまだ続けていこう」とこれからを誓いました。

長年にわたる多くの方たちの支えのおかげで、今につながっています。

―完成した受け手養成講座講義集

『いじめよ、とまれ！』

「せたがやチャイルドライン」は、18才までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティア。1998年の活動開始から20年の節目を迎え、3月に記念行事を開催しました。20年前の立ち上げに参加した懐かしいメンバー、そして新しい世代が一堂に集い、世田谷ボランティア協会2代目理事長で、せたがやチャイルドラインの代表を務めた故・牟田悌三（むたていぞう）さんが写真の中から見守っていました。

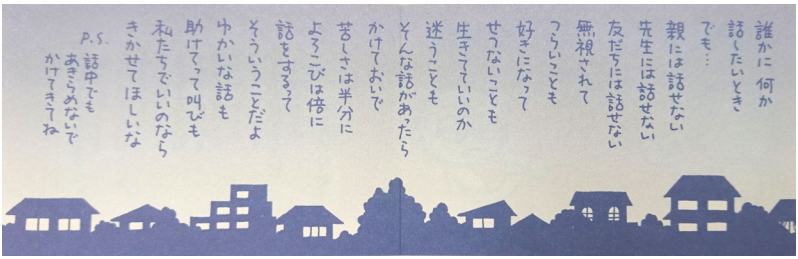
20周年のお祝いの会、第1部はチャイルドラインの歴史のさまざまな場面で関わってきたメンバーたちのいわば「同窓会」。「『チャイルドラインを世田谷でやることになったら、電話を受けようと思う人はいますか？』と問いかけられた時に『はい！』と手を上げました」という第1期の人から、最近「受け手」に認定されたばかりの人、「8年前に電話を受けたのが最後」というご無沙汰の人も久しぶりに集い、「また活動できるようになったら戻りたい」という気持ちになったようです。

当時、教育ジャーナリストとしてチャイルドラインの立ち上げにかかわった現世田谷区長の保坂展人さんも駆けつけ、そもそものいきさつをこう語りました。

「ミスター・ボランティアと言われていた牟田さんが文科省の中央教育審議会の「いじめ」専門委員に任じられたのを機に、世田谷区内の子どもに関わるさまざまな現場にいる人たちが集まって『こんなことを提案してもらったらどうか』とアイデア出しの会をやりました。そのなかで、「世田谷からいじめをなくす、少なくともいじめを受けて追い詰められた子どもに救援がないという状況は変えたい、いじめが起きても最悪の事態に陥らないようなセーフティネットをつくろう」と、1996年

■せたがやチャイルドライン
HP　https://www.otagaisama.or.jp/about/childline
blog　http://blog.canpan.info/setagaya-cl

に『世田谷こどもいのちのネットワーク』が発足しました。『いじめよ、とまれ！』と題したシンポジウムを区教育委員会と共催し、



子どもたちに配ったカード（2001年作成）

子ども、親たち、教師、行政、地域の人々など、５００人の参加がありました。何回か集会を重ね、「いじめをとめるために、地域でできることはなんだろう」と考え、出されたアイデアがイギリスで実施されていた「チャイルドライン」でした。

その後、牟田さんをはじめとする５人がイギリスの「チャイルドライン」を訪れ、レクチャーを受けました。24時間３６５日、子どもが通話料を払わずにダイヤルできるイギリスのシステムは夢物語のようでしたが、「『電話』と『聴く人』と『熱意』があれば大丈夫」という励ましに背中を押され、１９９８年３月には24時間電話を２週間、世田谷で試行することになりました。

子どもが「かけたい」と思う電話を

「受け手」を募り、「いのちの電話」の齋藤友紀雄（さいとうゆきお）先生に相談して急きょ、研修プログラムをつくっていただき、ほぼ1ヶ月で研修を行いました。世田谷の子どもたちには学校経由でカードを配り番号を伝え、１９９８年３月13日の真夜中に回線をオープン。０時ちょうどに電話が鳴りました。受けた電話は２週間で１０６９件。「今度はいつやるの？」という子どもの声を切実に感じ、１年後に再び２週間の試行。

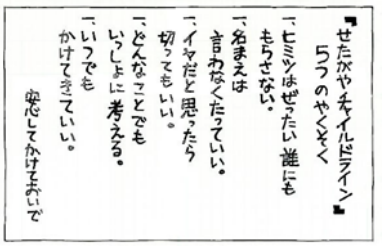
そして２０００年６月からは常設化し、現在は火曜～土曜、16時から21時まで、フリーダイヤルで全国からの子どもの声を聴いています。世田谷での試みは、全国の「子ども」に関わるグループや行政にも大きなインパクトを与え、各地で「チャイルドライン」が立ち上がりました。全国組織として「チャイルドライン支援センター」が誕生し、牟田さんはその代表にもなり、「花咲かじいさん」のように、全国各地で種まきをしまし

《18才の子どものための電話》
せたがやチャイルドライン　03-3412-4747
全国フリーダイヤル　0120-99-7777

た。

子どもが対象の電話による相談機関は、それまでも教育委員会、児童相談所、警察などでも実施していました。しかし、専門家ではなく近所のおじさんおばさんのような身近な存在として子どもに寄りそい、「僕（私）がかけてもいいんだ」と子ども自身が感じられる電話、チャイルドラインはそんな電話でありたいと思ったのです。そして子どもたちには5つの約束をしています。

相談や悩み事がなくても、かけていい電話。誰もいない留守の家に帰った子どもが「ただいま！」と電話をしてきたり、「こんなにうれしいことがあった」と、一緒に喜んでほしくて電話してくることもあります。「こうしなさい」と指示するのではなく、「子どもが自分でどうしたいかを決める」きっかけをつかんでもらえるよう、子どもの気持ちを聴くことを大切にしています。



「せたがやチャイルドライン」
5つのやくそく

ともに歩んできた20年

そんな思いで、子どもとの電話という絆を絶やさないよう続けてきた20年。延べ6万件の電話を受け、これまでに開催してきた「受け手」養成講座は22回になり、受け手ボランティアの仲間を増やしてきました。20周年を記念して、講座の内容をまとめた『受け手養成講座　講義集～子どもに育ててもらったおとなたち～』を発行しました。

記念クッキーを製作
（協力：パイ焼き窯）

創設に関わったメンバーのひとりで毎回研修の講師を務めている天野秀昭（あまのひであき）さん（プレーパークせたがや理事）は当時を振り返り、「齋藤友紀雄さんにむりやり研修の講師をお願いに行ったら、『鬼気迫るものがあったので』と引き受けてくれました」「回線がつながると、すぐに電話が鳴ったりして、手応えを感じました。『子どもの声を聴いてくれる大人がいるんだ』『私も大人になったら電話をとりたい』と言った子がいたなあ」と感慨深げでした。

活動を始めて数年の、若い世代によって構成されたムービー班が、長く関わってきた人たちへの

インタビューをもとに映像記録を制作したのも素晴らしいことでした。チャイルドラインがどんな想いで立ち上げられ、ここまでつながってきたのか、深く知りたいという関心が、映像をつくることにつながったのでしょう。この映像がこれからかかわる人たちにチャイルドラインで活動したいという気持ちを起こさせるものとなったら、と願っています。

子どもを支える輪が広がる

チャイルドラインは直接「電話」や「運営」に関わるボランティアだけでなく、多くの方々に支えられています。手作り品を提供したり、ボロ市などでチャリティ・バザーの売り子を手伝ったり、子どもたちに配布するチラシやカードの印刷や仕分けをしたり…。お祝いの会第2部は、さまざまなボランティアの方々も一緒に、楽しく祝いました。

記念パーティーの始まりは「エル・システマジャパン」のフェローオーケストラが素晴らしい音色を奏でてくれました。「エル・システマ」は、南米ベネズエラで始まった、音楽を通してスラムの貧しい子どもたちを非行や犯罪から守ろうという活動で、多くの優れた音楽家を生み出しています。日本でも東日本大震災のあと、「エル・システマジャパン」が立ち上がり、音楽を経験することで子どもたちの「生きる力」を育むことを目指しています。その活動を支えているのが「フェロー」と呼ばれる音楽指導ボランティア。被災地に音楽を運び、子どもたちが生き生きと育つことのお手伝いをしています。その理念はチャイルドラインとも共通し、この特別の日にとてもふさわしいものでした。せたがやチャイルドライン定番の「手づくり料理」を囲んだ交流会は、夜遅くまで素敵な時間を共有しました。

「エル・システマジャパン」の音楽指導ボランティア（フェロー）による演奏でお祝い

この20年に培い、蓄えた大きな宝物を携えて、チャイルドラインは子どもが少しでも生きやすくなるような世の中を目指してこれからも歩みを続けます。「ボランティアを中心に20年活動が続いていること自体が『希望』。何よりも子どもが電話をかけてきてくれるということが『希望』です」と語ったメンバーの言葉を、この日集まったみんなで共有し、未来にバトンをつなげたいと思います。

（寄稿／せたがやチャイルドライン運営委員長・セボネ編集委員　星野弥生）

■受け手養成講座講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』は1冊1,000円で販売しています。詳しくは事務局までお問合せください。
せたがやチャイルドライン事務局　☎ 03-5712-5101

写真前列中央がマイヤースさん

おはなしたまごの会

まちの市民力!!

取材・事務局

●

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

絵本の読み聞かせではなく、語り手の声ひとつで聞き手が物語の情景を思い浮かべながら聞く「おはなし」の世界。「おはなしたまごの会」は子ども向けのおはなし会のほか、「大人のためのおはなし会」の活動もしているグループです。代表のマイヤース景子さんにお話をうかがいました。

マイヤースさんは図書館司書の仕事をしていたことがあり、アメリカで始まった児童のための読書活動「ストーリーテリング」の勉強をしていました。ボランティア活動を通じて玉川ボランティアビューローに出会い、その縁でマイヤースさんを講師にストーリーテリング講座を開催。2012年にボランティアグループが立ち上がりました。ボランティアビューローで活動していたことから、「大人向けにもおはなし会をやってみませんか?」と声がかかり、活動の幅がより広がりました。

おはなし会に向けては何カ月も前から準備し、練習しています。まずは実際に聞いてみようと、4月のおはなし会にむけた練習風景を見学させていただきました。昔話や創作物語など、ひとつにつき10分前後ですが、耳を傾けていると登場人物や場面が頭の中を駆け巡り、「おはなし」の世界に入り込んで、時が経つのも忘れるほど。

昨年秋にも養成講座を開催し、新しいメンバーを迎えて、12人になりました。活動を続けているメンバーに尋ねると、「他の人のおはなしを聞くと、自分がふだん選ばないようなおはなしも聞けて楽しいんです」といいます。図書館以外でも、地域の高齢者サロンから声がかかったり、メンバーの特技のオカリナ演奏にも取り組んだり、ビューローの紹介で障害のある人が通う施設でのおはなし会をしたり、この6年で活動は地域に広がっていきました。「声をかけてもらえれば行きますよ」

「語り手はあくまでも黒子、『このおはなしが聞きたい』と思ってもらえるように、練習を心がけています」とマイヤースさんは話します。読書とは一味違って、語り手によって異なる声のトーンや間合いをリアルタイムで共有し、心情の変化や場面の描写が楽しめる一期一会のおはなし会。ぜひ一度耳を傾けてみませんか?

■おはなしたまごの会　「大人のためのおはなし会」
4月20日（金）10:30～中央図書館
5月18日（金）10:30～玉川ボランティアビューロー

せたがや災害ボランティアセンターレポート　1月～3月の動き

■マッチングコーディネーター養成講座を実施（1 月～２月）

基礎講座を１月に日本女子体育大学、２月に日本体育大学で行いました。今年度は協定を結んだ５大学とご要望いただいた地域で講座を行い、１年間で 600 名以上の方が受講されました。

４月以降も、協定を結んだ５つの大学のをはじめ、さまざまな地域でも実施する予定です。ぜひご参加ください。

■スキルアップ講座（２月～３月）

基礎講座を受講された方を対象に、スキルアップ講座を開催しました。コーディネーターとして、被災者から受け取る「ボランティア依頼カード」の取り扱い方や、避難所・要配慮者の問題についてグループワークなどを通じて学んでいきます。

参加された方からは「非常に難しい問題ではありましたが、とてもためになりました」などのご感想をいただきました。

■東京都災害ボランティア活動連携訓練への参加（３月）

都内の様々な団体が連携・協働して取り組む訓練が東京ボランティアセンター主催で実施されました。今年度は東京湾北部地震を想定し、発災３か月後の被災地・被災者のコミュニティ支援について検討しました。区内外のつながりを深め、いざというときの連携に活かしていきたいと思います。

養成講座の情報はホームページや facebook をご覧ください
http://www.saigai.otagaisama.or.jp/

＊沿線別にイベントやボランティア情報を入れています。
詳細は P10 ～ 15 をご覧ください。

タリー映画を観る会
4/14～20
P15

語ろう不登校 part223
（土）14 時～
オープンスペース Be! P14

ター2018
～ 15 時
やき広場
P14

●小田急線沿線

☆ちょっと手伝って！ボランティア募集	詳細 P11
☆視覚障害のある方の調理サポート募集	詳細 P12
☆グループホームの余暇活動ボランティア募集	詳細 P12
☆さくらまつりボランティア募集	詳細 P12

せたがやチャイルドライン
受け手養成公開講座
5/25～7/27　全 9 回
世田谷ボランティアセンター　P14

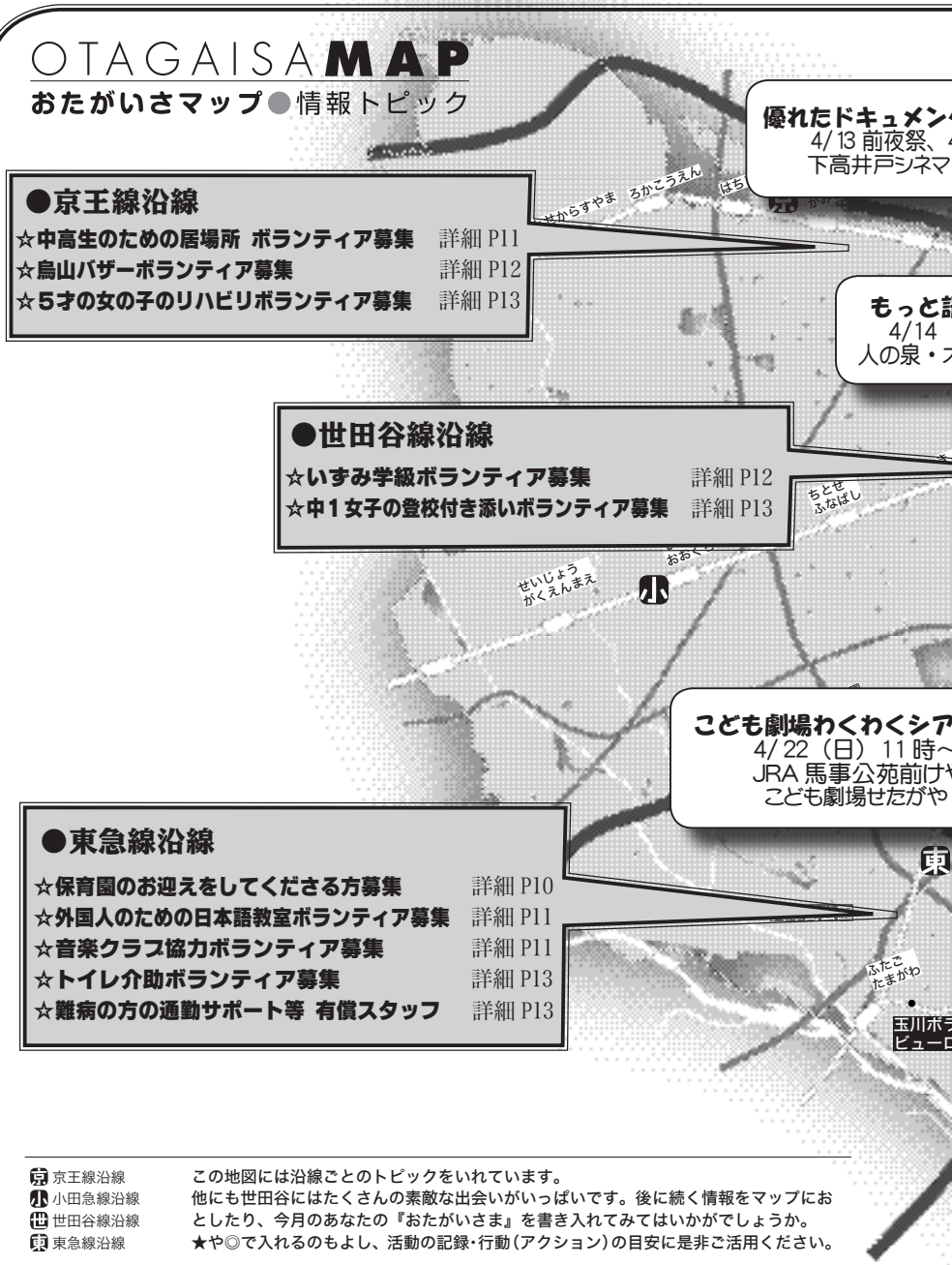
NPO・市民活動相談
随時お問合せください（事前予約制）
世田谷ボランティアセンター　P15

日本文化を愉しむ会
日本舞踊の扇の簡単な扱い方と茶話会
4/27（金）10 時～ 12 時半
玉川ボランティアビューロー　P14

おたがさいがMAP

OTAGAISA**MAP**

おたがいさマップ●情報トピック



●京王線沿線

- ☆中高生のための居場所 ボランティア募集　詳細 P11
- ☆烏山バザーボランティア募集　詳細 P12
- ☆5才の女の子のリハビリボランティア募集　詳細 P13

●世田谷線沿線

- ☆いずみ学級ボランティア募集　詳細 P12
- ☆中1女子の登校付き添いボランティア募集　詳細 P13

●東急線沿線

- ☆保育園のお迎えをしてくださる方募集　詳細 P10
- ☆外国人のための日本語教室ボランティア募集　詳細 P11
- ☆音楽クラブ協力ボランティア募集　詳細 P11
- ☆トイレ介助ボランティア募集　詳細 P13
- ☆難病の方の通勤サポート等 有償スタッフ　詳細 P13

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動（アクション）の目安に是非ご活用ください。

おたがいさまビュー

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

ご相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組む、ボランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　鈴木・青木
TEL　5712-5101
suzuki@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

東 玉川地域で保育園からの迎えをしてくださる方募集

世田谷区玉川に住んでいる3歳の女の子を保育園から家まで送ってくださる方を探しています。

体調が優れず、ご両親が保育園へお子さんを迎えにいくことが難しいため、火曜日の夕方、保育園から家まで送ってくださり、その後ご自宅でしばらくお子さんをみてくださる方を探しています。おおらかな性格のお子さんです。詳しくはお問い合わせください。

●日時／火曜日の17時～18時30分頃まで
●場所／保育園（玉川）から玉川のご自宅まで
●条件／女性
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　鈴木
TEL　5712-5101
suzuki@otagaisama.or.jp

個別の学習支援ボランティア募集

世田谷ボランティア協会では、小・中学生の個別の学習支援に取り組む、ボランティアを募集しています。

「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受けて、必要とする方にボランティアを紹介していきます。学年や環境が変わる春は相談が増えるため、関心のある方はぜひ一度お会いして、お話ができたらと思います。資格や経験は問いません。

●日時／週1回程度でご相談
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　鈴木・青木
TEL　5712-5101
suzuki@otagaisama.or.jp

50代女性の自立生活訓練のボランティア募集

私は日野市にある多摩療護園という施設で暮らす52歳女性です。入所して11年程経ちますが、施設を出て世田谷区で暮らしたいと願っています。35年前に光明養護学校を卒業しており友人はたくさんいるのですが、経験が無いことから自立生活の訓練などに協力頂けるボランティアさんを急募しています。

まずは月1回程度で、時間等は応相談です。主に移動支援となりますが、食事のフォローもお願いしたいです。私の夢に協力頂ける方の応募をお待ちしております。

※詳細はお問合せください。

●日時／平日昼間で応相談。
●場所／日野市～三軒茶屋周辺
●交通／京王線高幡不動駅～世田谷区内（三軒茶屋周辺）
●条件／女性。交通費支給、謝礼あり
●問合せ／自立生活センターHANDS世田谷
TEL　5450-2861

OTAGAISAMA VIEW

東 外国人のための日本語教室ボランティア募集

地域に暮らす外国人に日本語を教えるボランティアを募集しています。男女、年齢、資格、経験は問いません。

●日時／毎週木曜日　10時～12時
●場所／世田谷ボランティアセンター
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分
●問合せ／JCA玉川　三軒茶屋クラス　担当　塩田
TEL　3411-0448
https://ameblo.jp/jcatamagawa1/

小 ちょっとてつだって！ ～vol.2 放課後ちょっと手伝って！

学生のみなさん！地域のみなさん！　ちょっと手伝ってくれませんか？

おじいちゃん、おばあちゃんが暮らしている特別養護老人ホームでは、人手が足りなくて、手伝ってくれる人を探しています。学校の放課後にちょっと手伝ってくれませんか？

●内容／お風呂の掃除、おしぼりの準備、車いすの洗浄、お話し相手など
●日時／平日の15時～18時の間の都合のつく時間（60分以上）
●条件／15歳以上の方。継続的に活動できる方（例えば毎週木曜日の16時～17時など）
●持ちもの／上履き、制服でない汚れても良い服装
●申込み／各施設に連絡をして、説明などをきく日（オリエンテーション）を決めてください。
●活動先（施設名称・担当者・住所・電話・メール）
①喜多見ホーム（担当　野村）
喜多見7-20-26
TEL　5727-1161
nanzankai2@muse.ocn.ne.jp
②博水の郷（担当　山本・坂井）
鎌田3-16-6
TEL　5491-0340
yamamoto@hakusuinosato.or.jp
③砧ホーム（担当　高橋）
砧3-9-11
TEL　5429-6239
kinutaho-mu@yuai.or.jp
④エリザベート成城（担当　長田・新居）
成城8-27-24
TEL　3789-8100
elisabeth@ryokufu1984.or.jp
●問合せ／せたがや介護普及有志の会　担当　鈴木
TEL　5712-5101

東 音楽クラブ協力ボランティア募集

九品仏生活実習所は障がいがある方が通う施設です。毎週木曜日の午後に音楽クラブの活動でカラオケ、合唱を行っています。月に1回～2回程度、ピアノ、ギターなどを演奏をしながら一緒に参加してくださる方を募集しています。演奏曲は童謡、ポップス曲程度です。

●日時／木曜日の13時45分～14時45分
●場所／九品仏生活実習所
●交通／九品仏駅徒歩7分
●募集人数／1人
●条件／楽器の演奏ができる方を希望
●問合せ／世田谷区立九品仏生活実習所　担当　正岡
TEL　3703-1519
m-kuhonjitu.sakura.ne.jp/blog/

京 中高生のための居場所「たからばこ」ボランティア募集

世田谷区では、大学生との協働プロジェクトとして、中高生世代の若者が自由に集い、会話をしたり勉強をしたりと、思い思いの時間をゆったりと過ごすことができる居場所を運営しています。「たからばこ」は大学生を中心に、利用者と一緒に食事をつくって食べる夕食会や、世代を超えたいろいろな人と出会い一緒に楽しめるイベントを企画・運営しています。

子どもが好き、人の面倒を見るのが好き、いろいろな人と交流したい、将来子どもに関わる仕事がしたい方、一緒に中高生の見守り、出会い・交流・主体的活動のサポートをしませんか？興味がある人は、ご連絡ください。

●日時／毎週水曜日　18時～20時
●場所／岡さんの家TOMO
（世田谷区上北沢3-5-7）
●交通／上北沢駅　徒歩5分
●条件／大学生世代。交通費相当額として1回1000円支給
●問合せ／世田谷区　子ども・若者部 若者支援担当課　担当 井上
TEL　5432-2599

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。
5月号掲載は4月10日（火）に締め切ります。

おたがいさま ビュー

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東京線沿線

小 グループホームに遊びにきませんか

障害のある方たちが共に暮らすグループホームでは、余暇活動をいっしょに楽しむボランティアを募集しています。脳性麻痺の方を中心とした、身体に障害のある30～50代の男性が5名入居されています。お話したりいっしょにゲームをしたり、楽しく交流しましょう！　短時間でも歓迎します！

●日時／土・日、祝日10～17時の間　短時間でも大歓迎です！
●場所／グループホームきぬた
●交通／祖師ヶ谷大蔵駅徒歩10分
●問合せ／相談支援センターおかもと（岡本福祉作業ホーム内）
担当　石黒
TEL　3415-3366

京 烏山バザー　ボランティア募集

烏山を中心に活動するNPO団体や福祉施設などが出店する、「烏山もったいないバザール」を手伝ってくださる方を募集しています。テントの設営や机の移動、売り子などのご協力お願いします。

●日時／5月13日（日）8時半～17時の間でご相談
●場所／烏山区民センター前広場
●交通／千歳烏山駅徒歩1分
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　今関
TEL　5712-5101
imazeki@otagaisama.or.jp

小 視覚障害のある方の調理サポート募集

「みんなの料理」は、視覚障害のある女性たちによる料理講習グループです。この活動を手伝ってくださるボランティアを求めています。すでに3名かかわっていますが、もう1名募集しています。料理が好きな方なら、視覚障害の知識がなくても大丈夫です。

●日時／毎月1回、第4月曜日　13時～16時
●場所／砧総合支所区民集会室
●交通／成城学園前駅徒歩5分
●条件／料理に興味のある女性。食事代として1回500円が必要です。
●問合せ／世田谷ボランティア協会　担当　宮崎
TEL　5712-5101

世 京 東 知的障がいのある人と一緒に活動しよう いずみ学級ボランティア募集

「いずみ学級」は、知的障がいのある人たちと、彼らを支え、共に学び、遊ぶボランティアによって運営される学級です。1年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、キャンプ、スキーなどの活動をしています。

ボランティアは、学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちが参加して活動しています。資格等は不要で、知的障がいのある人たちと関わることに興味のある方なら、誰でも参加できます。実際に参加している方の声もホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。ホームページから、またはお電話にてお気軽にご連絡ください。

●日時／原則として第1・第3日曜日の10時～15時半（年22回）
●場所／活動拠点は世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校。他に外出や宿泊行事もあります
●条件／高校生以上
●問合せ／世田谷区教育委員会事務局　生涯学習・地域学校連携課　いずみ学級担当
TEL　5432-2733

小 さくらまつり（施設公開）ボランティア募集

さくらまつり（施設公開）に利用者さんと一緒に参加して楽しんでいただけるボランティアさんを募集しています。

●内容／①施設内での体験補助・和紙（ハガキ作りの工程）、機織（コースター作り）、ミシン（布巾の端縫い）、陶芸（皿作りと型抜き）、②車いす移動介助（利用者さんと一緒に外に出て近くの施設をまわります）
●日時／4月7日（土）9時半～14時半
●場所／世田谷区立すまいる梅丘
●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分
●条件／軽食を提供します
●問合せ／世田谷区立すまいる梅丘　担当　小田切・面上
TEL　3425-5710

OTAGAISAMA VIEW

世 中1女子の登校付添いボランティア募集

中学校1年生女子の、登校の付き添いをして下さる女性を求めています。朝7時40分頃、自宅に迎えに来ていただき、世田谷線山下駅から電車に乗り、下高井戸駅でおりて、近くの学校までの付添をお願いします。

学校に行くことが大好きな女の子です。電車での移動等に関し、サポートをお願いします。子どもが好きで理解がある女性のボランティアを募集しています。週1～2回でもお手伝いしていただけると助かります。

●日時／月曜、火曜、木曜、金曜　週1～2回でも助かります。朝7時40分頃～（1回50分程度）
●交通／山下駅～下高井戸駅
●条件／女性。交通費（世田谷線運賃）は依頼者が負担します。
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL　3420-2520
umebora@otagaisama.or.jp

京 5才の女の子のリハビリボランティア募集

脳に障害のある5歳の女の子が、ドーマン法というリハビリプログラムを実施しています。ドーマン法は脳の障害を治すためのプログラムでアメリカにドーマン研究所があります。手や足を動かすパターニングというリハビリがあり、大人3人の協力が必要になります。毎日数時間行うため、たくさんの方の協力が必要です。

複数の方が交代で協力してくださっていますが、まだ人手が必要です。週1回1時間でも、月に1回でも、ご協力いただける方はご連絡ください。

●日時／要相談
●場所／世田谷区粕谷1丁目
●交通／千歳烏山駅徒歩10分
●条件／子ども好きな女性、非喫煙者、交通費支給（上限あり）
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　植田
TEL　5712-5101
ueda@otagaisama.or.jp

東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助（パッド交換）のボランティアを探しています。複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

●日時／火曜　12時40分～13時（頻度は応相談）
●場所／二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階
●募集人数／1～2人
●条件／年齢・性別・資格不問。交通費応相談
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL　3707-3528

有償スタッフ募集

東 難病の方の通勤サポート等 有償スタッフ募集

関節の炎症のため1人での歩行が難しい女性教員が、通勤サポート（車の運転および歩行時に荷物を持つ）と、仕事場および自宅でのPC作業（メールチェック等）を手伝ってくださる方を探しています。また、通勤にはペットのトイプードルが同行します。お世話はほぼ不要ですが、見守りをお願いしたいです。

通勤にはご本人の車を使用し、道に慣れるまではご本人が片道を運転することが可能です。現在2名でサポートしていますが、木曜担当の方が今後活動できなくなるため、新たに活動してくださる方を探しています。まずはお問合せください。

●日時／毎週木曜日　11時～19時半
●場所／自宅（野毛2丁目）～職場（40分程度）
●募集人数／1名
●条件／女性希望。謝礼1回8126円（時給956円）
集合場所までの交通費支給。
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL　3707-3528

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。
5月号掲載は4月10日（火）に締め切ります。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

講座・その他・募集

東 【日本文化を愉しむ会4月】「日本舞踊の扇の簡単な扱い方と茶話会」

お抹茶や着付け、日本史の勉強など、毎月さまざまなテーマで「日本文化」を愉しむ会です。

今月は、日本舞踊の扇の扱い方を教えてもらいましょう。また、お抹茶を点ててお菓子をいただきながら、日本文化について思うことをみんなでのんびりと話しましょう。

●日時／4月27日（金）10時～12時半
●場所／玉川ボランティアビューロー
●交通／二子玉川駅徒歩5分
●参加費／500円
●申込み締切／4月25日
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707-3528
tamabora@otagaisama.or.jp

小東 こども劇場わくわくシアター2018

21回目となる「こども劇場わくわくシアター2018」は、子どもも大人も市民として参画するオリジナルのお祭り。未来への願いや夢がいっぱいつまった「わくわくシアター」を一緒に楽しみましょう！

●日時／4月22日（日）11時～15時
●場所／JRA馬事公苑前けやき広場
●交通／千歳船橋駅、経堂駅、桜新町駅、用賀駅から徒歩、またはバス「農大前」下車すぐ
●内容／野外ステージ：プロのミュージシャンによるコンサートや大道芸、遊びコーナー：名物ダンボール迷路、子どもたちが企画するお店、模擬店（わたあめ、焼きそば）、バザーなど
●問合せ／NPO法人こども劇場せたがや 担当 大野
TEL 3422-8928
http://www.kogeki-setagaya.org/

東 チャイルドライン公開講座2018

18才までの子どものための電話「チャイルドライン」の受け手を養成する研修の一環です。子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの『聴く』を体感してみませんか。公開講座ですので、興味のある回だけでもご参加いただけます。

子どもからの電話を受ける「受け手」になることを希望される方は、公開講座を全回参加していただくと秋に行われる「第23期受け手養成専修講座」の受講資格が得られます。電話の受け手が不足しています。ぜひご参加ください。

●日時／5月25日(金)、31日(木)、6月8日、15日、22日、29日、7月7日（土）、13日、27日 原則として金曜日夜 全9回 19時～21時半。※7月7日(土)のみ15時～17時半
●場所／世田谷ボランティアセンター
●参加費／1講座2000円
●定員／20名
●申込み／メールまたはFAX
●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局
TEL 5712-5101
FAX 3410-3811
childline@otagaisama.or.jp

世小 「もっと語ろう不登校 part223」

これまで23年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／4月14日（土）14時～
●場所／人の泉・オープンスペースBe!
●参加費／300円（カンパ歓迎）
●交通／山下駅徒歩6分
●問合せ／世田谷こどものいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤
TEL 5300-5581

OTAGAISAMA VIEW

東京を青く染めよう!キャンペーン ～4月2日は世界自閉症啓発デー～

4月2日は「世界自閉症啓発デー」。国内では4月2日から8日を「発達障害啓発週間」として、様々な啓発活動が行われています。世界中のランドマークがテーマカラーのブルーに染まり、自閉症を知ってもらうためのさまざまな取り組みが行われます。

＊3月26日～4月6日まで世田谷区役所第2庁舎入口もブルーに装飾されます。

《東京タワー　ブルーライトアップイベント2018》

青いものを身につけて東京タワーに集まろう

●日時／4月2日（月）イベントは14時～、ライトアップは18時半～

●問合せ／TT2018実行委員会事務局（東京都自閉症協会）TEL　6907-3531

京世　優れたドキュメンタリー映画を観る会

34回目となるドキュメンタリー映画の上映会、今回で最後となります。4月14日から20日の朝と夜の7日間です。今回は「さよならさんかく　またきて　しかく」と題して、15本の映画を上映します。上映作品等、詳細は劇場へお問合せいただくか、「下高井戸シネマ」で検索ください。

●公開前夜祭／『夜間もやってる保育園』監督のトーク付き上映会（限定150席）

●前夜祭日時／4月13日（金）18時半開場、19時開演

●前夜祭料金／一般・学生1600円、シニア・障がい者・高校生以下1400円

●日時／4月14日～20日　作品により開始時刻が異なります。

●当日料金／一般1300円、学生1100円、シニア・障がい者・高校生以下1000円、会員900円

●場所／下高井戸シネマ

●交通／下高井戸駅徒歩2分

●問合せ／下高井戸シネマ　TEL　3328-1008

「おたがいさまbank」に登録しませんか ボランティア情報をメールでお届けします

2018年4月から世田谷区と連携し、ボランティア情報をメールでお知らせするサービスを始めます。

『おたがいさまbank』は、世田谷区および近郊で誰かがボランティアを必要としているとき、ボランティア活動を希望するあなたにメールでお知らせする、ボランティア登録サイトです（登録無料）。登録フォームからメールアドレスなどを入力して登録することで、区内のさまざまなボランティア情報を受け取ることができます。

あなたの「おたがいさま」の心を、この助け合いのしくみで生かしてみませんか。世田谷区に、おたがいさまの輪を広げましょう。

●登録方法／パソコン、スマートフォンからアクセスしてください。登録はこちらから https://www.otagaisama.or.jp/bank/

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　宮崎　TEL　5712-5101

東　NPO・市民活動相談 ご活用ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。

グループの運営に悩んでいる、助成金情報が知りたい、NPOって何？など、いろいろなご相談を受けています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。（相談無料、事前予約制）

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　宮崎　TEL　5712-5101（月曜・祝日休館）

世田谷ボランティア協会の活動●支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

■世田谷ボランティアセンター　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
■梅丘ボランティアビューロー　〒154－0022 梅丘1－8－9　TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
■代田ボランティアビューロー　〒155－0033 代田2－20－6　TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
■玉川ボランティアビューロー　〒158－0094 玉川2－1－15　TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にするところ「ふらっと」&「with」です●

■ケアセンター「ふらっと」　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
■ケアセンター「ｗｉｔｈ」　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 1F　TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

■ケア相談センター結(ゆい)　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
■ケアステーション連(れん)　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにともなう「困った！」を話せるところ●

■世田谷地域障害者相談支援センター　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

■せたがやチャイルドライン　こどもせんようでんわ　TEL (3412)4747　0120-99-7777(フリーダイヤル)
＊事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

春は「ボランティアしたい」という相談が増えます。すぐに活動したい方はぜひご相談にお越しください。まずは情報を知りたい方は「おたがいさま bank」に登録してみませんか？ メールで情報をお届けします。

◆ふらっと& with より

今年ケアセンターふらっとは 22 年目、ケアセンター with は 12 年目を迎えます。多くの人たちとの出会いや別れがありました。春は出会いと別れの季節。今年はどんな春になるのか楽しみです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

20 年の節目、心新たに、そして今日も変わらず、子どもの声に耳を傾けています。第 23 期受け手養成公開講座の実施に向けて準備中です。講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』も好評いただいています。

編集後記

■チャイルドラインのために演奏してくださった音楽ボランティアの若者は、実はその足で、子どもたちへの指導のため、福島県相馬市へ向かいました。とても忙しいなか協力くださった方々に感謝です。そして、この日のためにバースデーケーキをつくってくださったお菓子ボランティアのNさん、ありがとうございました！
■3月 11 日（日）「おたがいさまフェスタ」でセボネの表紙イラスト展を初めて行い、会場がとても華やぎ好評でした。(み)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154－0002
世田谷区下馬2－20－14
TEL 03･5712･5101
FAX 03･3410･3811
●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
http://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山　康博